

日医ニュース

2026. 2. 5 No. 1544

発行所



日本医師会
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail wwwinfo@po.med.or.jp
https://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



トピックス

- 定例記者会見 2面
- 審議会報告 4面
- 都道府県医師会だより 6面

「赤ひげ大賞」受賞者(5名)

順位は北から
受賞者の年齢は令和8年1月7日現在

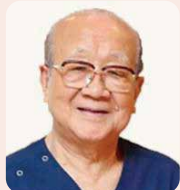
きむら もりかず
木村 守和 医師



66歳 福島県
社会福祉法人楽寿会
理事長

往診や訪問診療に取り組むとともに、特別養護老人ホーム・訪問看護ステーションを運営し、多職種連携によるネットワークづくりに尽力。東日本大震災後は被災した地域のために地域包括ケア、台風水害支援、新型コロナウイルス感染症対応を主導してきた。学校医、産業医も25年以上務め、小中学生に認知症、在宅医療、がんなどについて伝える「いのちの授業」を展開。2023年にALS(筋萎縮性側索硬化症)を発症後には、医師であり、患者でもある立場から、自身の声を読み上げるソフトを用いて講演を続けている。

はやし ただし
林 正 医師



93歳 埼玉県
大宮林医院 顧問

産婦人科医として66年、父の代からの医院を継承し、これまで1万人以上の出産に携わっている。昭和50年代にはラオスの内乱で国を追われ、旧大宮市に移り住んだ約50名の難民の人々の健康管理に協力した。また、言葉も通じず習慣も異なる異国で不安を抱えている妊婦10名の分娩、産前産後の健診を無償で行った。「いのちのバトンをつなぐこと」を代々受け継ぎ、女性の一生、思春期から老年期まで年代ごとの悩みや不調を解決するために寄り添うパートナーを自負。2027年の開院100周年を見届けることを目標に、今なお現役を続ける。

かわむろ ゆう
川室 優 医師



80歳 新潟県
高田西城病院
理事長・院長

故郷である上越地域の精神科医として、30代から住民の「こころの病の健康・予防」に尽力。現在まで二つの病院の「仁寿の精神」を受け継ぎ、地域医療を行っている。1980年代よりグループホームの前身の共同同居活動を基に、1981年に社会福祉法人を創設し、医療の傍ら、精神障がい者が地域で暮らす住居・就労ケア(工房でのパン作業、農作業など)を継続。また、障がい者への「偏見・差別解消の理解」のため、「まあいい心で共ににっこり」をスローガンとして住民と共に、祭り、音楽会、マラソン大会などを長きにわたり開催している。

でみず あきら
出水 明 医師



73歳 大阪府
出水クリニック
理事長・院長

「家で療養したい」という患者の願いをかなえるため、1996年にクリニックを開業。以来、一般内科とペインクリニックの外来診療と並行して、在宅診療にも従事し、これまで1,500人以上に寄り添い、900人以上の看取りを行った。他の診療所との相互連携により、24時間365日体制で在宅医療を提供する枠組み「岸和田在宅ケア24」を構築した他、在宅医療に関して医学生や研修医への指導、市民への講演、医師会の医療・介護連携事業などにも尽力。独居高齢者や在宅看取り患者の家族への支援などにも取り組んでいる。

まえがわ ゆうこ
前川 裕子 医師



50歳 徳島県
徳島県立三好病院
循環器内科 部長

東日本大震災に衝撃を受け、岩手県宮古市に移住。被災地支援にとどまらず、循環器科常勤医が不在だった病院で、24時間緊急対応可能な循環器診療の実現に尽力した。2023年に故郷の徳島県に戻り、県立病院の内科に勤務しつつ、医師不足や高齢化が進む準無医地区の診療所にも赴く他、学校や高齢者施設との連携、地域住民への健康講話などにも力を注ぐ。2024年の能登半島地震の際には被災地支援に県医師会から日本医師会災害医療チーム(JMAT)として参加。平時も災害時も患者に寄り添う医療を掲げ、実践している。

「赤ひげ功労賞」受賞者(20名)

順位は北から・敬称略

すぎやま しげる 杉山 茂 (北海道)	おの せよしなが 小野瀬好良 (茨城県)	おがたなおさぶろう 尾形直三郎 (栃木県)	ほしの きみお 星野 仁夫 (群馬県)
まつなが へいた 松永 平太 (千葉県)	なかさと ひろし 中里 厚 (東京都)	もりしま あきら 森島 昭 (神奈川県)	まさる 井村 優 (石川県)
はぎの まさき 萩野 正樹 (福井県)	おさだ ただひろ 長田 忠大 (山梨県)	えつぞう 林 悦三 (静岡県)	さかくら 坂倉 究 (三重県)
いせむらたくじ 伊勢村卓司 (京都府)	おおした ともひこ 大下 智彦 (広島県)	ただみち 安本 忠道 (山口県)	おかもと 岡本 啓一 (高知県)
おの たつや 小野 辰也 (佐賀県)	まさひろ 山下 昌洋 (熊本県)	よしだ もり 吉田 史郎 (大分県)	あきと 森 明人 (鹿児島県)

「日本医師会 赤ひげ大賞」(以下、「赤ひげ大賞」)は、地域の医療現場で健康を中心に地域住民の生活を支えている医師にスポットを当て、その活躍を顕彰すること、成24年に日本医師会と産経新聞社が創設したもの

第14回「日本医師会 赤ひげ大賞」(主催:日本医師会、産経新聞社、協力:都道府県医師会、特別協賛:太陽生命保険)の受賞者として、「赤ひげ大賞」5名、「赤ひげ功労賞」20名が決定し、選考委員を務めた黒瀬巖常任理事が1月7日に行われた定例記者会見で発表した。

「赤ひげ大賞」の名称は、山本周五郎の時代小説『赤ひげ診療譚』に由来しており、同小説の主人公は、江戸時代中期に貧民救済施設である小石川養生所で活躍した小川笙船をモデルとしている。賞の創設以来、毎回、京都府立医科大学、徳島

である。「赤ひげ大賞」の名称は、山本周五郎の時代小説『赤ひげ診療譚』に由来しており、同小説の主人公は、江戸時代中期に貧民救済施設である小石川養生所で活躍した小川笙船をモデルとしている。賞の創設以来、毎回、京都府立医科大学、徳島

今回の「赤ひげ大賞」の受賞者は50歳から93歳まで幅広く、また、福島県からは初めての受賞者によって、受賞者のよう

多くのマスコミの皆さんにその功績を報道してもらいたい」と要請。また、受賞者の功績を知ることによって、受賞者のよう

日本医師会

赤ひげ大賞 第14回 「日本医師会 赤ひげ大賞」 大賞並びに功労賞の受賞者が決定



大学で地域医療を学ぶ学生グループ)にも選考委員として参加してもらい、「将来このような医師になりたい」という視点から、選考を行ってもらう。その結果、都道府県医師会から推薦された候補者から25名を「赤ひげ功労賞」に、その中から5名を「赤ひげ大賞」に選定した(大賞受賞者の功績、功労賞受賞者の氏名は左掲参照)。

選考委員

羽毛田 信吾 (恩賜財団母子愛育会会長)	向井 千秋 (東京理科大学特任副学長)	檀 ふみ (俳優)	ロバート キャンベル (早稲田大学特命教授)
森光 敬子 (厚生労働省医政局長)	医学生 (京都大学、京都府立医科大学、徳島大学/令和7年度)	城守 国斗 (日本医師会常任理事)	黒瀬 巖 (日本医師会常任理事)
哲郎 (産経新聞社常務取締役)	河合 雅司 (産経新聞客員論説委員)	(敬称略)	

日本医師会

定例記者会見

1月7日

新年に当たって



松本吉郎会長は今年初めての定例記者会見に臨み、新年に当たって、参議院選挙や令和7年度補正予算、令和8年度診療報酬改定における改定率の議論など、激動の一年となった昨年を振り返るとともに、2026年にはそれらを受けて、着実に実行、推進していく一年になるとの所感を述べた。

冒頭、松本会長は本年の干支である丙午（ひのうま）に触れ、「『丙』『午』共に『火』の要素をもち、それが迷信にもつながっているが、別の面から見ると、情熱やエネルギーと捉えることができる。本年は（自身が）年男であり、地域医療を守るという強い決意と信念の下、情熱的かつエネルギーを一年にしたい」との抱負を述べた。

また、昨年を振り返り、特に印象深いものとして、与党に極めて強い逆風が吹く中での参院選において、かまやち敏副会長（当時）が医療・社会保障関係候補者7名のうちトップで当選を果たしたことを挙げ、当選後の活躍を労うとともに、今後の更なる活躍に期待を寄せた。

次に、令和7年度補正予算が医療・介護合わせで約1・4兆円、厚生労働省の医療分の予算だけで1兆368億円となり、更に文部科学省の予算や内閣府の重点支援地方交付金も措置されるなど、大規模な補正となったことを挙げた。

抗インフルエンザ薬の
スイッチOTC化に
反対の意向を表明

1月7日までパブリックコメントが募集されていることに触れるとともに、国民の健康に対する大きなリスクが生じ得るとして、強い危惧を表明。

今村英仁常任理事は、抗インフルエンザ薬のスイッチOTC化に反対の意向を表明。日本医師会として、医師の診断と治療の下で国民の健康と安全を守り、国民皆保険制度を堅持する姿勢で、今後にも対応していくと主張した。

改正、マイナ保険証への移行、医療保険制度における出産に対する支援の強化など、2025年は総じて大きな枠組みや方向性が決まった、もしくは議論が進んだ年であったとし、「今年はそのを受け、着実に実行、推進していく一年となる」との考えを表明。高市早苗内閣総理大臣が年頭所感で設置するとして「国民会議」についても言及し、記者会見等も含め、さまざまな手段で意見を主張していくとするとともに、組織強化など、会務運営にも引き続き努力していきたいとした。

更に、高齢者や小児、妊婦、基礎疾患を有する人など、重症化リスクの高い人々に対しては、抗インフルエンザ薬の使用可否や投与方法を慎重に判断する必要があると強調。スイッチOTC化は、こうしたリスク評価を個人の自己判断に委ねることになり、結果として重症例の増加や、救急医療などの医療資源の逼迫を招きかねないことに危機感をあらわにした。

また、インフルエンザは、発熱やせきなどの軽症例にとどまらず、肺炎や脳症などの重篤な合併症を引き起こし得る感染症であることに言及。診断と治療開始の判断に関しては、発症時期や症状の経過、基礎疾患の有無、年齢などを総合的に評価した上で行われる必要があると指摘した上で、「抗インフルエンザ薬は、こうした医学的判断を前提として、医師の管理下で適正に使用されるべき医薬品である」と強調した。

握は、医療機関を通じて行われてきたことを説明した上で、「スイッチOTC化により医療機関を介さない中途半端な治療が広がれば、流行状況の把握や適切な対策立案が困難となり、わが国全体の感染症対応力を低下させる恐れがある」と釘を刺した。

最後に今村常任理事は、「やみくもなセルフメディケーションの推進、更には社会保険料の削減を目的とするOTC類似薬の取り扱いやスイッチOTC化を進めてしまつと、必要な時に適切な医療を受けられない国民が増えることが危惧される」と強調するとともに、「日本医師会として、医師の診断と治療の下で国民の健康と安全を守り、国民皆保険制度を堅持する姿勢で、今後にも対応していく」と主張した。

公衆衛生及び地域医療体制の観点からも、抗インフルエンザ薬のスイッチOTC化は慎重であるべきと指摘。流行期における受診動向や、インフルエンザを含む急性呼吸器感染症の感染状況の把握は、医療機関を通じて行われてきたことを説明した上で、「スイッチOTC化により医療機関を介さない中途半端な治療が広がれば、流行状況の把握や適切な対策立案が困難となり、わが国全体の感染症対応力を低下させる恐れがある」と釘を刺した。

重要なお知らせ

ベースアップ評価料の届出を行われていない医療機関等におかれましては、

- 令和7年度補正予算で行われる医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業（令和8年3月1日時点でベースアップ評価料を届け出ている施設が対象）
- 令和8年度診療報酬改定（賃上げ対応）の対応のため、ぜひ、2月中の届出をご検討下さい!!



「日本医師会ペイシエントハラスメント・ネット上の悪質な書き込み相談窓口（日医ペイハラ・ネット相談窓口）」を運用中!!

日本医師会では、「日本医師会ペイシエントハラスメント・ネット上の悪質な書き込み相談窓口（日医ペイハラ・ネット相談窓口）」の運用を行っています。

「日医ペイハラ・ネット相談窓口」は、昨今増加しているインターネット上の悪質な書き込みを含むペイシエントハラスメント全般に関する会員の先生方などからのご相談に対応するために開設したものです。お困りの際はぜひ、ご活用下さい。

- 利用対象者 日本医師会会員及び会員が開設・管理している医療機関または介護サービス施設・事業所の従事者
- 相談受付方法 WEBフォームまたは電話（電話受付時間：平日の午前9時～午後6時）
- 担当課 日本医師会情報システム課、医事法・医療安全課

※なお、WEBフォーム及び電話番号は日本医師会ホームページ内のメンバーズルームに掲載しているため、日本医師会会員用アカウント（ユーザー名、パスワード）が必要となります。

https://www.med.or.jp/doctor/sonota/sonota_etc/011988.html



日本医師会会員数調査

(令和7年12月1日現在)

都道府県 医師会	会 員 数					
	総数	A①会員	A②会員(B)	A②会員(C)	B会員	C会員
北海道	5,747	2,022	1,740	48	1,708	229
青森	1,237	591	276	13	239	118
岩手	1,592	648	336	27	487	94
宮城	3,430	1,448	1,091	118	711	62
秋田	1,509	542	157	4	729	77
山形	1,607	617	258	41	657	34
福島	2,723	1,138	585	21	786	193
茨城	2,703	1,337	648	161	529	28
栃木	2,340	1,122	380	75	691	72
群馬	2,153	1,215	447	111	330	50
埼玉	7,888	3,551	1,180	307	2,485	365
千葉	4,041	2,904	618	48	459	12
東京	20,286	10,101	3,497	593	5,911	184
神奈川	9,956	5,668	1,761	451	1,965	111
新潟	3,364	1,164	563	59	1,478	100
富山	1,139	642	200	37	255	5
石川	1,317	689	368	107	144	9
福井	1,012	428	316	6	241	21
山梨	1,057	525	142	3	362	25
長野	2,160	1,181	444	10	521	4
岐阜	3,021	1,258	403	89	1,136	135
静岡	4,709	2,232	867	62	1,266	282
愛知	11,301	4,675	1,764	432	4,104	326
三重	2,516	1,118	517	53	593	235
滋賀	1,433	857	253	6	282	35
京都	3,403	2,078	653	264	380	28
大阪	16,119	7,327	6,019	432	2,258	83
兵庫	8,679	4,453	2,638	153	1,354	81
奈良	2,027	988	404	140	487	8
和歌山	1,449	838	401	7	199	4
鳥取	773	362	180	39	179	13
島根	870	435	261	12	158	4
岡山	2,652	1,230	554	100	677	91
広島	5,650	2,141	2,751	187	540	31
山口	2,049	998	539	34	363	115
徳島	1,579	575	389	38	572	5
香川	1,680	689	435	0	555	1
愛媛	2,747	932	1,243	114	438	20
高知	1,226	431	494	18	278	5
福岡	9,179	3,828	1,972	263	2,787	329
佐賀	1,564	608	484	82	384	6
長崎	3,248	1,043	1,431	59	649	66
熊本	3,089	1,230	825	40	942	52
大分	2,243	831	438	10	942	22
宮崎	1,954	752	413	37	676	76
鹿児島	4,018	1,076	2,375	81	482	4
沖縄	2,154	755	584	124	609	82
合 計	178,593	81,273	44,294	5,116	43,978	3,932
構成割合 (%)	100.0	45.5	24.8	2.9	24.6	2.2

- A① : 病院・診療所の開設者、管理者およびそれに準ずる会員
A②(B) : 上記A①会員およびA②会員(C)以外の会員
A②(C) : 医師法に基づく研修医
B : 上記A②会員(B)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員
C : 上記A②会員(C)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員

令和7年度日本医師会会員数調査結果まとまる

過去最高を更新し

会員総数は178,593人に

日本医師会は、昨年12月16日に開催された第10回理事会で、都道府県医師会の協力により実施した令和7年度日本医師会会員数調査（令和7年12月1日現在）の結果を報告した。

それによると、会員総数は17万8,593人となったことが明らかとなった。A①会員は減少したもの、A②（B）会員並びにA②（C）会員等が増加となったため、全体では対前年度比で1210人の増加となった。

会員数の内訳は、A①会員が8万1,273人（構成割合45.5%）、A②（B）会員が4万4,294人（同24.8%）、A②（C）会員が5,116人（同2.9%）、B会員が43,978人（同24.6%）、C会員が3,932人（同2.2%）となっている。

日本医師会代議員の定数は385名

なお、今回の調査結果により、日本医師会代議員の定数は東京都、岐阜県、愛知県、奈良県、福岡県の各医師会の定数がそれぞれ1人ずつ増加し、385人となることになった（任期は令和8年6月開催予定の定例代議員会の開催日から、令和10年6月開催予定の定例代議員会開催日の前日まで）。

令和8年度税制改正大綱

重点医師偏在対策支援区域で承継・開業する診療所への税制措置の創設、認定医療法人制度に係る税制措置の延長などが決定

宮川政昭常任理事は1月13日に開催された第30回常任理事会で、昨年12月19日に与党が決定した「令和8年度税制改正大綱」の中で、日本医師会の要望が実現した項目等について報告を行った。

日本医師会は昨年8月に「令和8年度医療に関する税制要望」を取りまとめた上で（内容については本紙第1534号参照）、関係各方面に対し、月13日に開催された第30回常任理事会で、昨年12月19日に与党が決定した「令和8年度税制改正大綱」の中で、日本医師会の要望が実現した項目等について報告を行った。

（1）制度の存続として、社会保険診療報酬に係る事業税非課税措置「医療法人の社会保険診療報酬以外の部分に係る事業税軽減措置」及び「社会保険診療報酬の所得計算の特例措置」の存続が認められることになった。

（2）期限の到来する制度の延長として、認定医療法人制度に係る税制措置の適用期限が令和11年12月末まで3年間延長となった他、地域医療構想実現に向けた税制措置（認定を受けた再編計画に基づき複数の病院が再編した場合の不動産の保存登記・移転登記の登録免許税を軽減する他、不動産取得税を2分の1に軽減する措置）が令和10年3月末まで2年間延長された。

また、インボイス制度に連関し、医師会が自治体の健診事業等を受託し、会員に再委託する場合に、免税事業者の会員からはインボイスを受け取ることができず、医師会に消費税負担が生じる場合があることから、免税事業者からの仕入れについて、仕入税額の一部を控除できる経過措置の延長を求めてきたが、当該経過措置が、見直しの上で2年延長されることとなった。

（3）制度の創設・拡充等として、重点医師偏在対策支援区域で承継または開業する診療所への税制上の支援を目的に、不動産の保存登記・移転登記の登録免許税を軽減する他、不動産取得税の2分の1を軽減する措置が創設されることとなった。

また、社会医療法人や認定医療法人・特定医療法人・開放型病院等に係る税制措置について、自費患者に対し請求する金額が、社会保険診療報酬と同一の基準により計算されることとの要件が課されているが、訪日外国人に対する自費診療については、コストに見合った請求が可能となるよう、請求金額の上限を社会保険診療の3倍までの範囲で地域における標準的な料金を超えないものとする見直しが行われることになった。

（4）関連項目として「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」いわゆる「バリアフリー法」に関連し、劇場などに適用されていた固定資産税軽減措置の対象が、政府の補助を受けて同法に基づく基準に適合するバリアフリー改修工事を行った一定の特別特定建築物」とされることになり、病院や診療所も対象になり得ることになった。

また、個人版事業承継税制については、個人事業承継計画の提出期限が、令和10年9月末まで、2年6カ月延長された。更に、中小企業者等の少額減価償却資産の取得価額の損金算入の特例については、3年延長され、対象となる事業者の従業員数の要件を現行の500人以下から400人以下に引き下げられるとともに、取得価額の要件については、現行の30万円未満から40万円未満に引き上げられる一方で、中小企業経営強化税制や中小企業防災・減災投資促進税制については、対象資産の取得価額要件が30万円以上から40万円以上に引き上げられることになった。

本件に関する詳細については日医発第1649号「令和8年度税制改正について」をご参照願いたい。

MAMISに関する問い合わせ先

医師会会員情報システム（MAMIS）に関する各種の問い合わせにつきましては下記をご活用願います。



医師会会員情報システム運営事務局（コールセンター）

☎ inquiry@mamis.med.or.jp

☎ 0120-110-030

（受付時間：平日10:00～18:00

※土・日・祝日・年末年始を除く平日）

MAMISログインはこちらから ▶
mamis.med.or.jp/login



アジア大洋州医師会連合 (CMAAO) カトマンズ総会 濱口常任理事が JMATの活動について講演



2025年度アジア大洋州医師会連合 (CMAAO) 総会は、昨年9月にカトマンズ(ネパール)で開催予定であったが、ネパール国内の情勢不安

令和7年度全国医師会勤務医部会 連絡協議会に参加して

令和7年度全国医師会勤務医部会連絡協議会に参加させて頂きました。各都道府県医師会が持ち回りで担当となり、毎年、同協議会を開催し、全国から約400名の勤務医が集います。その折々の重要なテーマを取り上げて活発な議論が行われており、本年度で45回目を迎えました。

令和7年度は、岩手県働き方改革の問題や、人



口減少地域、人口減少時代での勤務医のあり方や活躍について、大変興味深い話題が満載でした。

特別講演の「南部美人の挑戦―岩手から世界へ」は、岩手の日本酒や南部美人の魅力、日本酒に対するさまざまな認識が深まる内容で、楽しく聞かせて頂きました。

また、盛岡の街は紅葉が見頃で、非常に綺麗な情景を歴史ある建物と共に

により対面での開催が延期され、9月17日にオンライン形式で理事会と総会の一部が開催された。参加は、16加盟医師会中11医師会から約30名で、日本医師会からは角田徹副会長(松本吉郎会長(CMAAO理事)代理)、濱口欣也常任理事(CMAAO事務総長)が出席した。

理事会では、役員選挙で、議長にイエ・ウエイ・チョンシンガポール医師会理事、副議長にカイ・チャイ・コーマレーシア医師会元会長、財務担当役員にイー・シン・チャン香港医師会理事が再選された。また、事務総長に濱口常任理事が、法律顧問に村田真一参加が再任された。

濱口常任理事からは昨年のCMAAO総会以降の活動を報告した他、財務担当報告なども行われ、堪能することができました。

1年に一度、全国から皆が集い、地域の魅力を堪能しながら、医療界の未来について語り合うことは、本当に素晴らしいことだと感じました。全国の医師が集い、語らい、共により良い未来に向かっていけるような機会を、日本医師会のさまざまな企画の中で実現できたら素晴らしいと思います。

(山) 総会では、アニル・ピクラム・カルキネパール医師会会長が第42代CMAAO会長に就任した。その後、ネパール医師会との調整の結果、12月12、13の両日、総会の続きがカトマンズにおいて現地並びにWEBによるハイブリッド形式で開催され、12医師会から約30名、日本医師会からは濱口常任理事が出席した(写真)。

総会式典では、スダ・シャルマ・ガウタムネパール保健人口省大臣が来賓あいさつを行った。また、9月に退任したマリア・ミネルヴァ・P・カリマゲCMAAO前会長(フィリピン医師会)が退任あいさつを、カルキ会長が就任あいさつをそれぞれ行った。第22回武見太郎記念講演では、ケンザ・ベナニ世界保健機関(WHO)ネパール事務所担当官による講演が行われた。

シンポジウムでは「災害への備え、対応、管理」をテーマとして各医師会が発表を行い、濱口常任理事は「震災に対する日本医師会の対応」として、日本医師会災害医療チーム(JMAT)の活動について講演を行った。

総会では、ネパール医師会の希望により、災害への備え、対応、管理に関するCMAAOカトマンズ宣言が採択された。

北里柴三郎先生を主人公とした NHK大河ドラマ実現に向けた署名にご協力を!!

破傷風やペスト、結核など多くの命を脅かす伝染病に立ち向かい、医学の発展に大きな足跡を残した北里柴三郎先生。私達の健康や暮らしの土台を築いた北里先生は今では「近代日本医学の父」とも呼ばれています。

その生涯は、病氣と闘うだけではなく、仲間との絆や困難との闘い、そして未来を信じて突き進む情熱にあふれたドラマチックな物語が詰まっているにもかかわらず、十分に伝わっていません。

そのため、北里先生をNHKの大河ドラマの主人公として取り上げてもらおうと50万人の署名を集めるプロジェクトが、ひ孫であられる北里英郎北里柴三郎記念館名誉館長を中心に開始されました。

日本医師会では北里先生が初代会長でもあることから、その趣旨に賛同し、本プロジェクトに協力しています。ぜひ、会員の先生方におかれましても、下記の二次元コードから署名にご協力願います。

問い合わせ先：北里柴三郎大河ドラマ誘致
実行委員会事務局 (小国町役場産業課内)
☎ 0967-46-2113



署名はこちらから



全国国民年金基金 日本医師・従業員支部 案内

税優遇適用に当たり
確定申告をお忘れなく!

国民年金基金制度では、掛金全額が社会保険料控除の対象となる他、年金の給付には、公的年金等控除が適用され、更に、遺族一時金については、全額が非課税の取り扱いとなっています。

国民年金基金は、国民年金に上乗せを行う「公的な年金制度」として、「税優遇を活かして老後に備える」制度です。

未加入の方は、この機会に、国民年金基金へのご加入をご検討願います。問い合わせは基金事務局(☎0120-700650)まで。WEB上でも、資料請求や加入申し込みのお手続きができます。

これらの税制上の優遇措置の適用を受けるためには、加入員の方については、確定申告の際に昨年、当基金より送付した「社会保険料控除証明書」

の添付が必要となります。また、基金の年金を受給中の方については、先月送付した「公的年金等の源泉徴収票」の添付が必要となります。それぞれ確認の上、必要な手続きを忘れずお願いします。

万一、これらを紛失し再交付が必要となった場合には、再交付申請書がWEB上からも入手できる他、再交付の手続きも

南から北から

埼玉県
浦和医師会報
第785号より

フレイルの お年頃になって

本松 茂



昨年古希を迎え、体力の衰えを感じることが増えてきている。以前できていたことができなくなるのはつらいもので、病気は他人がなるもの、こちらは治す方だとこれまで思ってきたが、徐々に逆転しつつある。

最近では下肢筋力が衰え、走ることがつらくなってきた。これまで手を引いてあげていた孫の後塵を拝すようになり、スクランブル交差点では危うく点滅に引っかかってしまうこともある。辛うじて病院の階段は自分の足で上っているが、駅の階段は人とぶつかって転んでは元も子もないので、エスカレーターに頼るようにしている。昨年の同窓会では、転んで慢性硬膜下血腫手術を受けた同級生が何人もいて、自転車通勤はやめることにした。

学生時代からロックバンドでボーカルを担当していたので、歌唱には多少自信があったが、フライドを脱ぎ捨ててボイストレーニングに通うことにした。

初日、アンケート用紙を渡され、ボイトレの目的を書かなければならぬ。1. プロの歌手になりたい、2. カラオケが上手になりたい、3. 人前で話せるようになりたい……などの項目が挙げられていた。最後まで見たが、誤嚥防止という項目は無い。仕方なく、フリーハンドで書いたが、それを見た担当講師からは、「このような目的の

方は初めてです」と言われた。その後3年間、月に2回ボイトレに通っている。さすがに若い頃の高音は出ないが、結構高い声も出るようになり、何よりむせることもなくなってきた。お年寄りのカラオケの会は馬鹿にならないと感じている。

今一番の課題は、思った言葉がすぐに出てこないことで、家内とはアレ、ソレの会話になっていない。認知機能の向上には楽器演奏が効果があると

言われており、ギターは毎日弾いているが、若い頃に覚えた曲ばかりで役に立ちそうにない。新しいことにチャレンジしなければ意味がないと思

い、引退したらピアノでも習おうかと考えている。今日この頃である。

初日、アンケート用紙を渡され、ボイトレの目的を書かなければならぬ。1. プロの歌手になりたい、2. カラオケが上手になりたい、3. 人前で話せるようになりたい……などの項目が挙げられていた。最後まで見たが、誤嚥防止という項目は無い。仕方なく、フリーハンドで書いたが、それを見た担当講師からは、「このような目的の

方は初めてです」と言われた。その後3年間、月に2回ボイトレに通っている。さすがに若い頃の高音は出ないが、結構高い声も出るようになり、何よりむせることもなくなってきた。お年寄りのカラオケの会は馬鹿にならないと感じている。

今一番の課題は、思った言葉がすぐに出てこないことで、家内とはアレ、ソレの会話になっていない。認知機能の向上には楽器演奏が効果があると

言われており、ギターは毎日弾いているが、若い頃に覚えた曲ばかりで役に立ちそうにない。新しいことにチャレンジしなければ意味がないと思

い、引退したらピアノでも習おうかと考えている。今日この頃である。

福井県
福井県医師会だより
第774号より

ココちゃん、 イガグリから家族へ

川村 里佳



わが家の家族、ハリネズミのココちゃんについてお話させて頂こうと思います。2021年の夏、世界がマスクと消毒液に包まれていたコロナ禍に、わが家に突如、ココちゃんが現れました。外

出もできず、友達とも遊ばない日々の中、「動物とゆっくり向き合えるチャンスかも?」という、今思えばちょっと甘い考えで、わが家はペット飼育未経験にもかかわらず、いきなりハリネズミを迎えるという無謀なチャレンジに踏み出しまし

た。夫は最初、「え、針? ムリムリ」と完全に腰が引けていたものの、息子の「飼いたい!」という熱意と、妻(私)の「子どもの頃、ハムスターと犬は飼ってたし!」という謎の自信に押され、ついにわが家によってきたのです。

きっかけは、1年前の神戸旅行。ふらっと立ち寄ったハリネズミカフェで、手のひらや膝に乗ってくる人懐っこいハリネズミ達に家族全員がメロメロに。「え、これならうちでも飼えるんじゃない?」という、今思えば完全なる勘違いから、ネットで飼育方法を調べ、ケージや寝床、トイレ砂、運動用ランニングホイール(歯車)、フードをそろえ、わが家にココちゃんをお迎えしました。

ところが、ペットショップで渡されたココちゃん、全身針を立てて完全防衛モード。まるでイガグリで、顔なんて見えやしない。ケージに移すために、グローブで触ろうとすれば「シューシュー」と威嚇音。触れ合

いどころか、観察すら困難でした。しかも夜行性なので、昼間はずっと寝ていて、家族が寝静まった夜中にだけ、歯車で爆走し、朝にはケージがうんこまみれ。本人は寝床で爆睡。イガグリ状態のココちゃんを遠目から観察する日が続きました。

それでも、ココちゃんが再び主食を食べるようになり、おやつは封印。毎朝のケージの掃除が日課となり、グローブ越しの触れ合いも続く中、なぜか息子だけは素手で抱っこできるという謎の絆が。

そして2年が経った頃。ココちゃんは、まるで「もう慣れたよ」と言わんばかりに、私達の目の前で、歯車で遊び、砂でゴロゴロ、餌もモリモリ食べるようになりました。「ついに心を開いてくれた!」と喜んでいたら、矢先、歩き方がよろよろするように。ある夜、寝

床から出て来ず、動かないココちゃんにスポイトで水をあげ、翌日病院へ……と思っていたら、朝には静かに旅立っていました。

滋賀県
大津市医師会誌
通巻第569号より

わたしの休憩室

泉 雅文



私の休憩室は小高い丘に建つ共同住宅の7階、北東の角にあります。空いた時間があると、その部屋の東向きの窓際に椅子を置き、腰掛けます。本を数冊、老眼鏡、双眼鏡、カメラ、そしてビールを脇に置けば準備完了。本を読んだり、ポイント景色を眺めたりして過ごす、幸せなひと時の始まりです。

窓の外、眼下には西大津の家々の屋根が広がり、その間を京阪電車やJR湖西線の列車が行き交う様子がうかがえます。まるでジオラマのようです。少し視線を上げれば雄大な琵琶湖が水をたたえ、遊覧船やヨットが浮かんでいます。対岸

には三上山を始め湖東の山々の姿があり、その奥には鈴鹿山脈が連なり、晴れた日には遠く伊吹山も望めます。いつもの風景ですが、いつも違って見えます。時に双眼鏡をのぞき、気に入れば写真に残して楽しんでいきます。40歳になる頃、自分は何か知らないと思うようになり、分野にこだわらず興味の赴くままに本を手取るようになりまし

た。受験生、医学生、医師として過ごしているうちに、実務とは関係が薄い知見をおろそかにしていたように感じたからです。さまざまな人が各々の分野で探求したことが文章となり、時間と空間を超えて語り掛けます。

人間の探求心には限りがないと感じます。合間にふと外に目をやると、私の思惑などお構いなしに鳥が飛び交い、歌っています。空にはさまざまな形の雲が浮かび、月や星や太陽が光っています。わが身の存在の小ささを感じます。

思い返せば子どもの頃は、無邪気な好奇心から本に親しんでいました。幸い身近に図鑑や百科事典がありまして、学研の『科学と学習』が属するのも毎回楽しみでした。ルパンやホームズなどの推理小説もその展開をワクワクしながら読んでいました。また同時に、暇があるといつまでも窓の外の様子を眺めるのが癖でした。通りの人や車、雨の日の水たまりの波紋や川の流れ、雲や星など飽きずに観察していた記憶があります。

年を経るにつれ純粋な知識欲が薄れていきました。還暦を超え、少しは成長したと思いたいのですが、変わらない変えられない面も多々あるようです。空いた時間は結局子どもの頃と同じように過ごしてしまします。まだまだ知らないことばかりなのに、脳の劣化はどうに始まっていて、いつまで新しいことが記憶に残るか分かりませんが、もう少しこの眺めの良い部屋で幸せに過ごせたらと思っています。

案内



子育て支援フォーラム in 高知

(WEB配信あり)



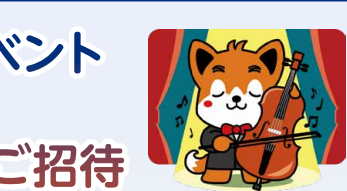
◆メインテーマ：子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指してこの子らの笑顔のために
◆主催：日本医師会、SBI子ども希望財団、高知県医師会
◆日時：2月28日(土) 午後1時～4時
◆場所：ザクラウンパレス新阪急高知(3階花の間) 2780-8561 高知市本町4-2-150 088-873-1111
◆定員：200名
◆主なプログラム：
・開会あいさつ(日本医師会)

①「児童虐待防止対策の推進」(矢部律子高知県中央児童相談所地域支援部長)
②「子どもが自分らしくいられるために」(みんなで子どもを育む)(武樋保恵児童家庭支援センター高知みそのセンター)
③「児童虐待防止対策の推進」(矢部律子高知県中央児童相談所地域支援部長)
④「笑顔のための子育て」(矢部律子高知県中央児童相談所地域支援部長)
⑤「笑顔のための子育て」(矢部律子高知県中央児童相談所地域支援部長)

◆申込締切：2月18日(水) 必着。ただし、定員になり次第締め切らせて頂きます。
◆お問い合わせ先：日本医師会広報課 03-3946-2121 (代)

◆主催：日本医師会
◆日時：3月1日(日) 午後1時30分～4時20分
◆対象者：(1) 日本医師会・都道府県医師会・市区等医師会の関係役員等、(2) 在宅医療に携わるかかりつけ医を始める方
◆参加費：無料
◆主なプログラム：
・開会あいさつ(松本吉郎会長)
・講演「医療計画における在宅医療及び医療・介護連携の体制整備について」(座長：新田國夫医療法人社団つくし会理事長、坂本泰三常任理事、演者：西嶋康浩厚生労働省医政局地域医療計画課長)
・基調講演「日本の在宅医療と小児在宅医療の現状」(座長：新田理事長、坂本常任理事、演者：前田浩利日本小児在宅医学会代表理事)
・シンポジウム「医療的ケア児・者と家族が望む暮らしを支える地域包括ケア」(座長：前田代表理事、坂本常任理事)
①富田直(東京都立小児総合医療センター在宅診療科部長)
②一ノ瀬英史(医療法人いちのせファミリークリニック院長)
③小畑正孝(医療法人社

◆参加形式と申込方法：(1) 日本医師会公式YouTubeチャンネル(ライブ配信)での視聴
◆申し込みは不要です。日本医師会ホームページに設置するシンポジウムの特設サイト(左記二次元コード)、または日本医師会公式YouTubeチャンネルよりご視聴下さい(当日のライブ配信は一方通行型の配信となりますので、質疑は受け付けませんこと、ご承知置き願います)。



3月11日(水) 開催の特別上映イベント
「2026オーケストラの夕べ」に
抽選で200組400名様をご招待



日本医師会ではこのたび、医療ドラマの名曲を演奏するオーケストラ“ORCHESTRA POSSIBLE～音楽は心のくすり～”の特別上映イベントとして、「2026オーケストラの夕べ」を開催し、抽選で200組400名様を無料でご招待することになりました。

本イベントは、日本医師会が全国のイオンシネマで行われる、ヴァイオリニストの枝並千花氏とプロデューサーのレーサー鹿島氏による「ORCHESTRA POSSIBLE」の公演(昨年4月・東京オペラシティ)を収録した映像の上映会を後援することになったことから、開催できることになったものです。

当日はお二人によるトークショーも予定しています。2018年の公演映像はYouTubeで累計1,900万回再生を記録するなど、大きな反響を呼んだものとなっていますので、ぜひ、日本医師会LINE公式アカウントを友だち登録の上、ご応募下さい。

◆開催日時：3月11日(水) 午後6時30分～(受付は午後5時30分～)

◆会場：日本医師会館1階大講堂(東京都文京区本駒込2-28-16)

◆対象者：日本医師会会員並びにそのご家族、日本医師会会員が所属する医療機関で働く医療従事者、医学生

◆応募締切：2月16日(月) 午後11時59分まで

◆申込方法：

- ①二次元コードを読み込んで日本医師会LINE公式アカウントを友だち登録(登録済みの方はトーク画面に飛びます)
- ②応募フォームより必要事項を記入
- ③応募完了!

※応募は一人1回に限らせて頂きます(複数回の応募は無効とさせて頂きます)。

※当選者の発表は、LINEの通知をもって代えさせて頂きます。

※1回の申し込みで最大2名様まで応募が可能です。

※受付では事前にお送りしたLINEの当選通知のご提示をお願いします(LINEの当選通知を削除された方はご入場できない場合もございますので、あらかじめご了承ください)。

※お席は自由席となっております。事前の予約はできません。車椅子の方は申込時にその旨をお申し出願います。

※駐車場及びクロークはございません。

◆問い合わせ先：日本医師会広報課 03-3946-2121 (代)



申し込みはこちら



申込はこちら



特設サイト

※日本医師会公式YouTubeチャンネルでは当日ライブ配信を行う他、後日にシンポジウムの模様を収録した動画を掲載する予定です。
(2) 会場(日本医師会館大講堂)での参加席に限りがございますので、事前に参加申し込みが必要です。会場での参加希望者は、日本医師会介護保険課までメールでお問い合わせ下さい。
◆問い合わせ先：日本医師会介護保険課(03-3946-2121) kaiho@do.med.or.jp